

## ポールのカット方法（ワンポール式）

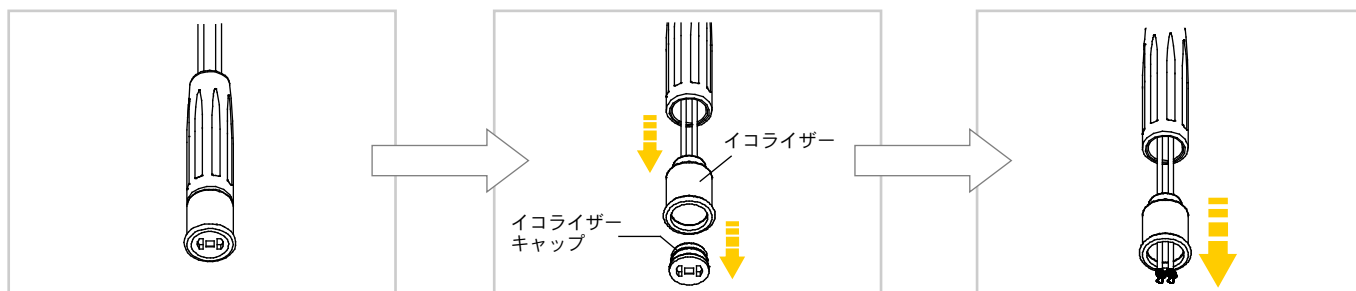
### ブラインド

対応製品：シルキー、シルキーカーテンのワンポール式  
 (平成12年4月以降に販売した商品に対応します。それ以前の商品につきましてはお問合せください)  
 必要工具：ラジオペンチ・マイナスドライバー・カッター・金のこ

難易度 ★★★★★（難しくかなり面倒です）

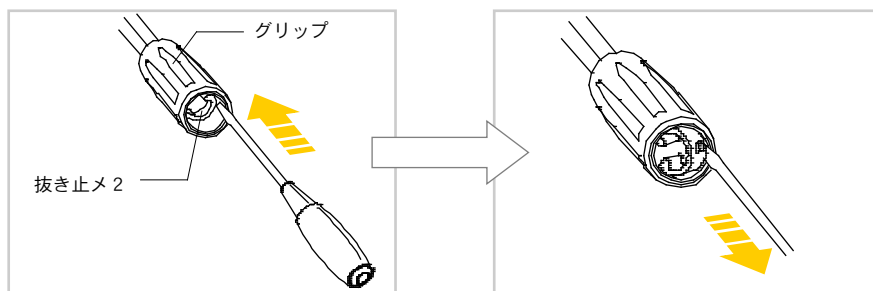
### ▶ ワンポール式のポールのカット方法

- 1 イコライザーキャップの穴にラジオペンチ等を差し込み、イコライザーキャップをイコライザーから取り外します。その後、イコライザーの中から昇降コードを取り出し、結び玉をほどいてイコライザーを取り除きます。

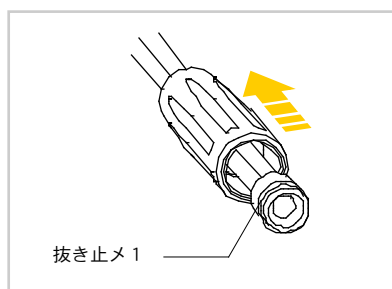


- 2 操作ポールの中にある昇降コードをあやまって切ってしまうないように、昇降コードをあらかじめ引き上げてください。

- 3 グリップの中にある抜き止め2の部品とグリップとの隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、抜き止め2を内側に押しつけながら、ドライバーを下方向に引きます。そうしますと、抜き止め2がグリップの中で倒れて簡単に外せます。

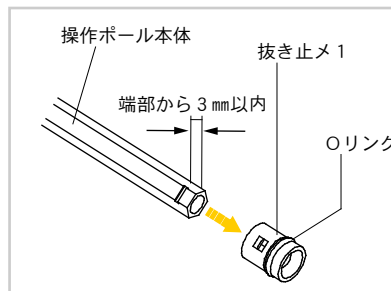
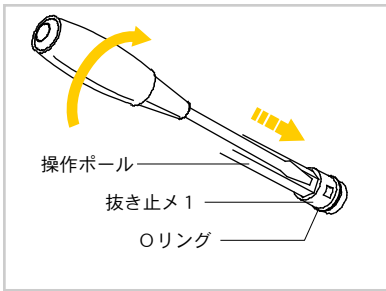


- 4 抜き止め2を外したら、グリップを操作ポール上方向にずらします。すると、抜き止め1がポール先端に取り付いています。



- 5** 抜止メ1の角穴があいている後ろ側の隙間にマイナスドライバーを差し込みます。差し込みましたら、テコの要領でドライバーを手前方向に引き起こします。

注) この時、抜止メ1が勢いよく外れて飛んでゆくことがありますので、部品をなくさないように注意してください。



- 6** カットする位置にカッターで傷をつけポールを折り曲げますと簡単に折れ、カットできます。

- 7** 操作ポールをカットしましたら、ポール端部から3mm以内に金ノコ等で溝を掘り込んでください。

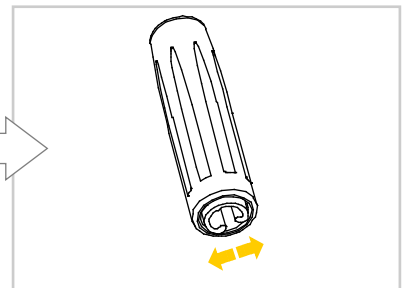
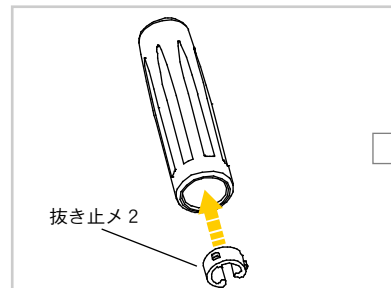
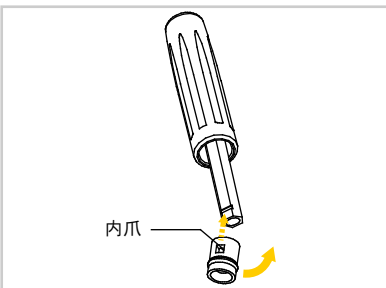
注) 端部からの溝加工位置が3mm以上の場合、抜止メ1の爪がポール溝にはまらないため外れてしまいます。また溝深さが浅い場合も上記同様に外れてしまいますので注意してください。

- 8** 操作ポールのカット及び端部の溝加工が終わりましたら、グリップが操作ポール本体にあるかどうかを確認してください。

グリップが作業している間に抜けていた場合は、操作ポール内に入れてください。

- 9** 次に抜止メ1を操作ポール端部に取り付けます。取り付け方は、まず抜止メ1の角穴があいている側(内側に爪がある)を操作ポールの溝加工した面に合わせ、斜め方向から差し込みます。続いてテコの要領で抜止メ1の後ろ側を押し込み、手で抜けないことを確認してください。

- 10** 更に抜止メ2をグリップに取り付けます。取り付け方は、まず抜止メ2をグリップに水平に押し込みます。次に抜止メ2の内側にラジオペンチ等を差し込み、わずかにラジオペンチの先を広げてそのまま、水平に押し込みます。押し込んでいきますとパチンという音がして、しっかり嵌合されます。



注) 手で簡単に抜けるようだとグリップが外れてしまいますので、もう一度取り付け直してください。

- 11** ブラインドを一番下まで降ろした時、コードイコライザーと操作ポールのグリップ部の隙間がなくなるように、コードイコライザー内の昇降コードの結び目を調整して、イコライザーとイコライザーキャップを取付けてください。

